

科学技術外交戦略TFの検討状況 [報告]

1. 開催日程及び出席者

- ・ 平成 24 年 5 月 18 日（金）10:00～11:20、中央合同庁舎 4 号館 12 階共用第 1214 会議室にて科学技術外交戦略TF（第 1 回）を開催。
- ・ 白石議員（総合科学技術会議議員、座長）、遠藤委員、岸委員、松井委員、宮崎委員が出席。
関係府省からは、総務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省がオブザーバー出席。外務省、厚生労働省、経団連、NEC、JST が傍聴。
内閣府からは、角南参与、吉川審議官、他が出席。

2. 議事概要

（1）開会挨拶（白石座長）

- ・ 平成 22 年にとりまとめた科学技術外交戦略タスクフォース（TF）報告書のポイント及び第 4 期科学技術基本計画への反映について紹介したうえで、今回のTFの狙い（府省の政策担当と共に行う coalition building の必要性、外交日程を睨んだ取組検討）を説明。

（2）議題

- ・ 議題（2）科学技術外交戦略タスクフォースについては、資料 1～資料 4-2 を用いて説明。
- ・ 議題（3）施策レビューに向けた調査については、事務局からの説明後、本TFにおける重点的取組の検討の視点及び科学技術外交の観点から特に重要と思われる推進方策について委員のご意見を伺った。

[主なご意見]

○重点的取組の検討に関して

- ・ アジアだけでなく、中東、アフリカといった広い範囲に注目することが必要。研究者や学生を我が国に呼ぶだけでなく、我が国の学生や研究者が出かけて行って、一緒に研究することも重要。
- ・ エジプト日本科学技術大学、インドでの東大の取組等、高等教育から研究者を育成していく取組も重要となる。
- ・ 開発途上国の理系大学の更新等にも円借款が行われており、ODAの実施と合わせ、我が国の大学関係者を海外に派遣し、頭脳循環を進める必要がある。新興国の範囲を広げ、新興国の候補国でもこうした取組を行うべき。
- ・ 復興再生は大きなキーワード。東北の再生可能エネルギー等に関して諸外国の関心も高まっており、マイナスをプラス変えて発信していくべき。
- ・ 情報収集・発信といった科学技術外交基盤として、科学技術アタッシュを強化し、研究者のキャリアパスとしていくことが必要。また、任期も 2 年でなく、4、5 年程度は必要。
- ・ サイバー等の安全保障関連は、政府のみならず民間の情報ネットワークに関わる問題でもあり、科学技術外交で取り扱うことで、違ったアクセントが出

るのではないか。

(座長によるまとめ)

- ・ 日本の外での研究をさらに推進する必要。その際には、アジアだけでなく、中東やアフリカといったさらに広い範囲に目配りが必要。
- ・ 諸外国でもイノベーションへの関心が高まっており、研究に関してもそうした観点が求められる。再生可能エネルギーは有力な分野だが、それ以外にもあるのではないか。
- ・ 科学技術外交の基盤強化という意味で、情報収集・発信のための科学技術アタッチェを強化し、キャリアパスとして位置づけていくことは必要。
- ・ 安全保障として、サイバー関係はもとより、マリタイム・セキュリティ（海上安全対策）、感染症といったものにも注意していくことが必要。

○科学技術外交の観点から重要と思われる推進方策に関して

- ・ ライフイノベーションの感染症関係は外交上、安全保障上も重要。また、国際標準、国際的レベルの視点という観点から、府省連携で国際機関と共同していることも重要。
- ・ 復興再生を旗頭としたグリーンイノベーションも重要。
- ・ 我が国には軍事研究がないため、要素技術の専門家は多く排出しているが、システムの専門家が育たない傾向がある。
- ・ データベースの国際標準化が遅れている。海外の雑誌に論文がとられる、海外企業がデータベースのシェアの大半を占めるという状況は国際的な課題であり取組が必要。
- ・ 人材循環として、留学生受け入れ事業の中だけでなく、研究協力の中で我が国の通常のプロジェクトに海外の人材に入ってもらうことが特に重要。
→吉川審議官より、WPI等のプロジェクトで、実際に多くの外国人研究者を受け入れ、成果を上げている例を説明。
→座長より、実態調査を行うよう、事務局に指示。

3. 今後の予定

- ・ 第2回

日時：5月29日（火）13:20～15:00

場所：中央合同庁舎4号館4階 共用第4特別会議室

以上

(参考)

科学技術外交戦略タスクフォース 委員名簿

座長	白石 隆	総合科学技術会議議員
	江村 克己	日本電気(株) 執行役員兼中央研究所長
	遠藤 弘良	東京女子医科大学 国際環境・熱帯医学講座 主任教授
	甲斐沼 美紀子	(独)国立環境研究所 社会環境システム研究センター フェロー
	岸 輝雄	(独)物質・材料研究機構 名誉顧問
	滝沢 智	東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻教授
	松井 靖夫	八千代エンジニアリング(株) 国際事業本部顧問
	宮崎 芳徳	(独)産業技術総合研究所 国際部部長
オブザーバー		
	岡野 直樹	総務省 情報通信国際戦略局 技術政策課長
	菅宮 真樹	外務省 軍縮不拡散・科学部 国際科学協力室長
	石田 徹	文部科学省 科学技術・学術政策局 国際交流官
	武井 貞治	厚生労働省 大臣官房国際課 国際協力室長
	尾崎 福栄	厚生労働省 大臣官房厚生科学課 研究企画官
	内川 昭彦	農林水産省 農林水産技術会議事務局 国際研究課長
	上田 洋二	経済産業省 産業技術環境局 国際室長
	安田 吾郎	国土交通省 総合政策局 海外プロジェクト推進課 国際建設管理官
	池田 陽彦	国土交通省 総合政策局 技術政策課長
	長坂 雄一	環境省 総合環境政策局 総務課 環境研究技術室長